

- 問1 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
- 問2 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？
- 問3 8世紀初めに編纂された、神話から推古天皇までの日本の成り立ちを記した歴史書を何という？
- 問4 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？
- 問5 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？
- 問6 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？
- 問7 聖武天皇が鎮護国家の象徴として建立を命じた、奈良にある寺院を何という？
- 問8 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問9 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？
- 問10 行基が協力したことで知られる、聖武天皇が国家の安泰を願って奈良に造営した巨大な仏像を何という？
- 問11 大伴家持が活躍し、万葉集がまとめられたのは何時代？
- 問12 奈良時代に、朝廷の命により各国の地理・産物・伝承をまとめた記録集を何という？
- 問13 奈良時代の仏教文化を象徴する建造物で、西アジアの品々も収められている有名な寺院を何という？
- 問14 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？
- 問15 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？
- 問16 鎮護国家の思想のもとで制作された、興福寺にあるこの時代を代表する仏教彫刻を何という？
- 問17 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？
- 問18 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？
- 問19 古代、中国の都から西アジアまでを結び、日本へ多くの貴重な文物や文化を伝えた交易路を何という？
- 問20 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？
- 問21 701年に制定され、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整える基礎となった律令を何という？
- 問22 戸籍に基づいて人々に口分田を与え、死後には国に返させるという奈良時代の土地制度を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 持統天皇	日本書紀は、奈良時代の720年に完成した歴史書です。神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。中国の歴史書の記述様式を取り入れ、非常に精緻な記録となっています。
問2	答え 鎮護国家	鎮護国家とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。聖武天皇は、この思想を国家運営の柱とし、東大寺に巨大な大仏を造立しました。また、あわせて全国に国分寺や国分尼寺を建立させるなど、仏教による統治を強めました。
問3	答え 古事記	
問4	答え 正倉院	正倉院は校倉造という独特の建築様式で建てられ、湿度の変化に応じて木材が伸縮することで内部の環境を一定に保つ工夫がなされています。ここには、天皇の愛用品だけでなく、当時の楽器や文書、世界各地からの貢ぎ物など、天平文化の粋が集められています。
問5	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収められており、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった庶民の歌も含まれているのが大きな特徴です。当時の人々の生活感情や社会の様子を知るための貴重な歴史資料となっています。
問6	答え 郡司	「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。
問7	答え 東大寺	東大寺は、743年の大仏造立の詔により、聖武天皇が中心となって建立されました。この寺は全国の国分寺の総本山としての役割を担い、鎮護国家の象徴として位置づけられました。完成した大仏は、当時の人々の信仰心を集め、国家統一の精神的な拠り所となりました。
問8	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集です。約4500首という膨大な歌が収められており、その中には天皇や貴族だけでなく、兵士である防人や農民といった、普段は歴史の記録に残りにくい人々の歌も含まれていることが大きな特徴です。素朴で力強い感情表現が多用されていることから、当時の人々の息吹を直接感じることができる資料です。
問9	答え 平城京	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開花しました。
問10	答え 東大寺の大仏	「東大寺の大仏」は、鎮護国家の精神を象徴する巨大な銅像です。完成には膨大な費用と人員が必要であり、聖武天皇は人望の厚い僧・行基に協力を仰ぎました。多くの民衆や貴族が造営に関わり、ようやく完成しました。
問11	答え 奈良時代	奈良時代は、仏教文化が開花するとともに、国史の編纂や文学作品の執筆が盛んに行われた時期です。歌人である大伴家持はこの時代の末期に活躍し、彼を中心に日本最古の歌集である『万葉集』が編纂されました。この時代、国家が整い、大陸の文化を吸収しながら日本独自の個性を確立しようという気運が強まっていました。
問12	答え 風土記	713年の勅命によって各国の国司が編纂した地理書です。地名の由来や神話、伝承、地域の産物などが詳しく記されています。現在では出雲国風土記など一部しか残っていませんが、当時の地方の実態を知る貴重な歴史資料となっています。
問13	答え 東大寺	東大寺は、当時の都である平城京に建立された巨大な寺院です。特に聖武天皇が発願した「東大寺の大仏」は、当時の国家の威信と仏教への信仰心の象徴でした。この寺院の宝物を収める正倉院には、シルクロードを経由して伝わった多くの貴重な宝物が現在も保管されており、当時の国際交流の様子を伝えています。
問14	答え 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生生きと表現されています。
問15	答え 太政官	太政官は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。長官である太政大臣を中心に、左大臣、右大臣などが政治の実務を行いました。
問16	答え 阿修羅像	奈良の興福寺にある「八部衆像」の一つで、乾漆造という手法で作られています。少年のように憂いを含んだ繊細な表情が特徴で、日本だけでなく世界的に非常に高く評価されている傑作です。
問17	答え 沿岸警備	防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。農民の中から徴兵されて派遣されましたが、任期は長く、遠い故郷を離れて厳しい監視活動を続けなければなりません。彼らの任務は国の平穏を守るための最前線でした。
問18	答え 防人	防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子を今に伝えています。
問19	答え シルクロード	シルクロードは、東アジアの中国から西アジア、さらにはヨーロッパへ通じる壮大な交易路です。この道を通じて、宝石、織物、香料、あるいは仏教やキリスト教などの宗教、芸術の技法が伝播しました。日本にもその影響が及び、当時の奈良に伝わった宝物の中には、シルクロードを経由して渡来したのが見られます。
問20	答え 正倉院	聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのんで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。楽器や鏡、美術品など、当時の国際交流を物語る非常に貴重な宝物が数多く保管されています。
問21	答え 大宝律令	701年に制定された大宝律令は、国家の基本となる法律であり、天皇を頂点とする中央政府と、その下に置かれる地方行政の組織や規則を定めました。これにより、戸籍の作成や租税の徴収、官僚の組織などが体系化され、律令国家としての体制が強固なものとなりました。
問22	答え 班田収授法	班田収授法は、戸籍を作成して6歳以上のすべての人々に「口分田」と呼ばれる土地を分け与える制度です。受け取った人は、その見返りとして租・庸・調などの税を納める義務を負いました。本人が死亡したときには、その土地を国に返却する仕組みです。この土地制度により、国家による民衆の把握が徹底されました。